

平成20, 21年度  
中期目標の達成状況報告書

平成22年6月  
大阪教育大学



# 目 次

## I. 中期目標の達成状況

- 1 教育に関する目標の達成状況…………… 1
- 2 研究に関する目標の達成状況…………… 9
- 3 社会との連携, 国際交流等に関する目標の達成状況…………… 11

## II. 「改善を要する点」についての改善状況…………… 13



## I. 中期目標の達成状況

## 1 教育に関する目標の達成状況

中項目		1 教育の成果に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	(学士課程) 教養教育・共通教育では、豊かな感性や人間性、批判的な思考力、高い人権意識、総合的な判断力等を養うとともに、IT活用能力や外国語運用能力、知的探求の基本的スキルや自己学習の能力を養う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-3	外国語運用能力については、TOEFL得点などによる具体的な達成目標を設定する。		TOEFL-ITPについては、500点の達成目標とは別に、単位認定に必要な得点として550点を設定し、平成21年度に1名の学生がこの基準をクリアし、実際に単位認定された。 また、文部科学省の平成21年度『大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム』に本学の取組“教える「英語力」向上プログラムの構築”が採択された。本取組は、本学における英語教育を大学卒業者に相応しい英語力を身につけさせるのみならず、さらにこれからの学校現場での外国語活動(英語教育)に必要な種々の能力の育成とその評価を確立し、教員希望者の英語能力の向上を図ろうとするものであり、将来的には、学生自身の英語力向上の動機付け、現職小学校教員に対する小学校英語の指導的教員の養成に繋がるものである(別添資料1, P1)。平成21年度には、教材開発や講演会・フォーラムの開催等、精力的に事業展開を行った(別添資料2, P1)。

小項目番号	小項目2	小項目	(学士課程) 教員養成教育では、教職教養とともに、深い教科内容の理解と高い教科指導能力を育成し、4年間の体系的な教育実習を通して実践的な教職能力を養う。また、学校安全や危機対応についての知識や能力を養う。教養系専門教育では、教養教育・共通教育の基礎の上に、専門分野についての総合性の高い基礎知識を修得し創造性豊かな探求能力を養う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-1	教員養成教育では、教職教養や教科内容についての専門的知識の基礎の上に、学校教員として即戦力になり得る教科指導及び生徒指導の能力、安全意識や危機対応能力、並びに得意分野の育成を目標とする。		<p>教員養成教育の充実のため、中教審答申や地元教育委員会からの要望等を踏まえ、平成22年度から小学校教員養成課程と中学校教員養成課程を統合し、教科別専攻制による学校教育教員養成課程を新設する学部改組計画を立案した(別添資料3. P2)。</p> <p>今回の改組は、中教審答申等で指摘されている教員として必要な資質能力を確実に身につけること、各教科における基礎的・基本的な内容を明確に捉え確かな学力を育成すること等への対応として、各教科の構造を連続的・体系的に捉える能力の育成をめざすとともに、とりわけ地域の教育課題を踏まえ、小・中接続、子ども理解、学級経営、学校経営といった校種を超えた義務教育の課題に対応し得る人材育成等の新しい教員養成の課題に応えようとするものである。</p>
計画2-8	学校教員のほか、図書館司書や学芸員などの様々な専門職、民間企業、公務員、公的機関・施設の職員等、幅広い進路に対応した就職指導や就職支援を充実する。		<p>就職支援の充実のため、平成22年度からの学部改組に伴う指導教員制の充実・強化とともに、キャリアサポートデスクを改組、充実し、キャリア支援センターを設置することを立案した。</p> <p>本センターは、学生の職業観・勤労観を育て、職業に関する知識や能力・技能を獲得させ、自己の特性を理解して職業を選択していく能力と態度を育てるために、キャリア教育を含めて大学生活のあらゆる場での学生のキャリアアップと職業選択を支援することを目的としており、キャリア教育の企画立案・実施や就職指導・相談の実施など、さまざまな面から就職支援を実施することとしている。</p> <p>実施体制として、専任教員1名、キャリア・アドバイザー5名(教員就職3名・企業就職2名)を配置し、改組前に比べ、スタッフを2名増員することとした(別添資料4. P2)。</p> <p>なお、本取組は、平成23年4月に施行される大学設置基準の改正(職業指導などの制度化)にも対応するものである。</p>

小項目番号	小項目3	小項目	(大学院課程)教育系専攻では、教育科学の最新の知識や研究成果についての理解を深めるとともに、教科教育や教科内容に関連する高度な知識や研究手法を修得する。これによって、教育現場で指導的な役割を担える教員を育成するとともに、現職教員の継続教育を行い資質の向上を図る。教養系専攻では、学卒者及び社会人を対象に、高度化する現代社会の要請や多様な課題に対応できる実践的な探求能力を養い、様々な専門的な職業分野で見識と創造的な課題解決能力をもって指導的立場を担える人材を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 教育内容等に関する目標	
-----	---------------	--

小項目番号	小項目1	小項目	
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-2	入学者の入学後の追跡調査や入試結果の分析を行い、入学者選抜方法の改善に活かすとともに、入学者選抜を的確かつ適正に実施するための資料収集と評価の手段として、高校生を対象とするステークホルダー調査を活用する。		入学後の追跡調査やステークホルダー調査、入試結果分析などを活用し、募集区分の細分化を解消するため、平成22年度からの学部改組に併せ、募集人員の大括り化を図った(資料3. P2, 資料5. P2)。この結果、平成22年度入試では、学部全体の志願者数が前年度比892人、25%増となった(資料6. P3)。

小項目番号	小項目2	小項目	
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-2	教員養成教育の充実のために、教養系専門教育のコースカリキュラムの効果的な活用を進める。		教員養成教育を充実するため、平成22年度の学校教育教員養成課程の設置に併せ、教員養成課程(第一部)のカリキュラムの再編に取り組んだ。 具体的には、教職に関する科目の強化を図るため、教職者のための教養として、新たな科目区分「教職基礎科目」及び「教職教養科目」を設け(別添資料7. P3)、教育職員免許法に定める科目以外に、本学独自の科目を開設した(別添資料8. P4)。また、教員養成課程の学生の教養系専門教育科目の選択履修範囲を拡大し、質・量の両面で教員養成教育の充実を図った。



小項目番号	小項目3	小項目	(学士課程) 教育方法については、少人数授業、実験・実習・演習授業を重視するとともに、体験型授業や参加型授業を拡大し、フィールドワークやインターネット活用等を積極的に導入する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4	小項目	(学士課程) 成績評価については、責任ある授業の実施と一体的に、教育の質の保証の観点から厳格化を進める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画4-3	セメスターごとに成績評価の結果を分析し改善を図る。		教務委員会の下に設置した成績評価ワーキンググループにおいて、絶対評価に相対評価を加味した現行の成績評価方法による成績評価の結果を分析するとともに、教員に対する「成績評価等に関するアンケート」調査の結果等を踏まえ、検討を行った結果、GPA制度の導入に向けた科目毎の到達目標の統一化の前段階として、平成22年度から、シラバスにおいて到達目標を厳密に明示し、これに対する素点をつける方法を導入するよう改善を図った。

小項目番号	小項目5	小項目	(大学院課程) 強い教職志向を持って専門的な研究に意欲を持つ者のほか、明確な将来目標と旺盛な研究意欲を持って研鑽を求める学卒者、現職教員、社会人等を積極的に受け入れる。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6	小項目	(大学院課程) 教育系専攻の教育課程については、高度な教育科学、教科教育及び教科内容の研究を中心に、体系的と総合性を備えた授業科目でカリキュラムを編成する。教養系専攻の教育課程については、分野融合を目指す専攻の理念に基づき、総合性の高い高度な授業内容でカリキュラムを編成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7	小項目	(大学院課程) 教育方法については、専門分野の特性に応じて調査・実習・実験・演習を含む実践的な研究指導を重視するとともに、職業現場をフィールドとするケーススタディやグループワークを積極的に導入する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目8	小項目	(大学院課程) 成績評価については、責任ある授業の実施や研究指導の実施と一体的に、教育の質を保証する観点から厳格化を進める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画8-3	セメスターごとに成績評価の結果を分析し改善を図る。		教務委員会の下に設置した成績評価ワーキンググループにおいて、絶対評価に相対評価を加味した現行の成績評価方法による成績評価の結果を分析するとともに、教員に対する「成績評価等に関するアンケート」調査の結果等を踏まえ、検討を行った結果、GPA制度の導入に向けた科目毎の到達目標の統一化の前段階として、平成22年度から、シラバスにおいて到達目標を厳密に明示し、これに対する素点をつける方法を導入するよう改善を図った。

中項目	3 教育の実施体制等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	教員配置については、分野別の教員組織の編成を弾力化し、新しい教育ニーズに対応して教員を柔軟に配置するとともに多様な人材を登用していく。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目2	小項目	教育環境の整備については、図書館や学内LANをさらに充実するとともに、演習室や実習・実験室、学生の自主的な学習活動のためのスペースをさらに整備する。また、社会人のための夜間授業の拡大に対応した施設の確保を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
小項目番号	小項目3	小項目	教育の質の改善のため、責任ある授業の実施を徹底するとともに、学生による授業評価の実施を拡大し、改善システムを整備する。また、FD事業をさらに充実するとともに、教員の教育活動についての評価システムを開発する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画3-6	教員の教育活動の評価システムを開発する。		平成18年度から開発、改善に取り組んできた大学教員の個人評価システムについて、平成21年度に開発を終え、評価結果を給与等に反映させることを決定した。
計画3-8	卒業生、教育委員会、学校関係者、企業関係者等による教育フォーラムを開催し、教育の水準・成果の検証の機会を設ける。これらの結果に基づき、学内の評価・改善組織において必要な改善に取り組む。		平成21年度において、開学60周年記念事業の一環として、「大阪の教育課題に就いて - 発信する大教大 -」を掲げ、年間を通じて5回のシンポジウムを開催し(別添資料9. P4)、のべ約2,300人の参加を得た。第5回シンポジウムでは、府内の卒業生教育長ら7人によるリレー提言が行われ、次期中期目標・計画の課題整理に繋がった。 また、京都・奈良・大阪の3教育大学長による大学改革シンポジウム「3人の学長が語る『連携を通じた教員養成の取り組み』」を文部科学省の後援を得て、国立大学協会との共催で開催し(別添資料10. P5)、教員養成を取り巻く今日的課題について熱心な討議を行い、教員養成教育の一層の充実や教員就職対策等について連携協力することが確認された(別添資料11. P5)。

中項目		4 学生への支援に関する目標	
小項目番号	小項目1	小項目	学生が自らの学習目標と進路希望に応じて履修計画を立て、意欲をもって学習に打ち込めるよう、学習相談・助言体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-2	指導教員制やオフィスアワーを充実するとともに、学生相談員を配置し、学習相談・助言体制を充実する。		<p>学習相談・助言体制を充実するため、「履修カルテ」(電子ポートフォリオ)を導入した。「履修カルテ」では、学生自らの目標設定、進捗管理とともに、教員がそれらを参照することができるようになっており、これにより個々の学生の学習履歴や目標達成状況を踏まえたきめ細い指導が可能となるものである(別添資料12. P6)。</p> <p>また、平成22年度から設置する学校教育教員養成課程は、教員組織と学生組織の対応関係を明確にするよう専攻立てされており(別添資料13. P7)、これにより1回生時からの電子ポートフォリオを活用した学生支援のフォローアップ体制を確立するとともに、併せて学生相談員やキャリア支援センター、保健センター等との連携体制を整備・充実した。</p>
小項目番号	小項目2	小項目	生活上、経済上、心身上等の問題を抱えて就学する学生に対して、身近で親身な相談・助言・支援体制を充実する。就職相談や資格取得の支援など、各種の学生サービス・学生支援を充実する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-4	留学生センターに協力教員を配置し、留学生の生活相談・生活支援体制を強化する。		平成20年度に留学生センターを国際センターに改組して、機能強化を図り、専任教員の増員を行った。また、専門の事務スタッフを新たに配置し、留学生の学習・生活に関する相談や日本での充実した生活をサポートする体制を強化した。

## 2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1 研究水準及び研究の成果等に関する目標		
小項目番号	小項目1	小項目	現代の教育問題に関連して社会的な要請の高い研究課題や、学術上の要請が高い研究課題に取り組み、先進的で独創性の高い成果を目標とする。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-2	教員養成教育の基盤となる教育科学、教科教育及び教科内容の研究を深めるとともに、学校安全や学校の危機管理に関する研究を推進する。		<p>学校安全に関する海外の先進事例や研究交流、ICTを活用した登下校管理システムの開発と実用化など、学校安全や学校の危機管理に関するこれまでの研究成果など(別添資料14. P7)が評価され、附属池田小学校が、平成22年3月5日にWHO(世界保健機関)が推進している International Safe School(「学校の安全を推進するために、子どもたち、教職員、保護者さらに地域の人々が一体となって、継続的・組織的な取組が展開されている学校」として認める制度)に日本で初めて認証を受け(別添資料15. P8)、これまで以上に安全に対する取組を行っていく決意をあらたにした。</p> <p>なお、これらの活動を背景として、学校安全や学校の危機管理などに関する大学教育を充実させ、カリキュラムに反映している(別添資料16. P8)。</p>
小項目番号	小項目2	小項目	研究成果は、教育現場における課題の解決や、専門分野の発展に寄与大阪教育大学 研究することを目標とする。実践的な研究成果は、学術雑誌や学会誌のみならず、市民向けの大学広報や大学のWebページを活用して広く社会に公開するとともに、地域の学校、教育委員会、産学官の連携プロジェクト等を通して活用に努める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標		
-----	--------------------	--	--

小項目番号	小項目1	小項目	研究者の配置については、教員配置を再編成し、研究動向に対応した新領域や重点分野の導入を促進するとともに、多様な人材を登用した機能的な配置を進める。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2	小項目	研究環境の整備については、施設活用のアセスメントによって研究スペースの有効活用を図るとともに、PFIの手法を活用した新たな施設整備に取り組む。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3	小項目	研究の質の向上を図るため、教員の研究活動の状況を把握・分析し、適切に評価するシステムを開発する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

## 3 社会との連携, 国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1 社会との連携, 国際交流等に関する目標
-----	-----------------------

小項目番号	小項目1	小項目	
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-4	教育委員会の資格認定講習や現職教員研修, 地元自治体の市民講座等にも積極的に協力する。		多様な学校教育の課題と教育界のニーズに応えるため, 教育委員会や地域の学校と連携・協力して各種の共同事業や支援事業を推進する。  教員免許更新制の導入を受け, 本学の教育と研究の蓄積を活かし, 必修講習8科目28クラス, 選択講習47科目を開設し(別添資料17. P9), のべ2,751人(必修講習1,447人, 選択講習1,304人)を受け入れた。受講後のアンケートでは, 「講習の内容・方法についての評価」の問いに対し, 「よい」「だいたいよい」の肯定的な意見が約9割を占めるなど, 受講者の評価も上々であった(別添資料18. P10)。

小項目番号	小項目2	小項目	
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の 中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-2	地元自治体の産業活性化事業や商工会の創業セミナー等への協力など, これまでの実績を踏まえつつ連携事業の拡大を図る。		専門分野の多様性を活かした産学官の連携活動を拡大する。  本学と柏原市, 地元企業による産学官連携行事として「柏原市民総合フェスティバル」を開催した。この行事は, これまで柏原市内の施設でそれぞれ実施してきた市民運動会, 商工まつり, 郷土まつりを総合フェスティバルとして一本化したものであり, 本学学生や教職員も積極的に参加し, 柏原キャンパスの陸上競技場をメイン会場に地元柏原市のほか, 近隣地域から約12,000人が参加し, 好評を得た。 また, 地域連携コーディネータが中心となり, 柏原市と本学学生が協働で創るコミュニティラジオ「FMかしわらじい」の放送を開始し, 本学の広報に資することはもとより, 本学学生が番組制作, プロデュース, プレゼンテーションに携わることで社会における実践的な活動の場となっている(別添資料19. P11)。

小項目番号	小項目3	小項目	海外の大学との交流協定の締結をさらに拡大し、学生や研究者の交流を促進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。



## Ⅱ. 「改善を要する点」についての改善状況

改善を要する点	改善状況
<p>【教育】  中期計画「入学者の入学後の追跡調査や入試結果の分析を行い、入学者選抜方法の改善に活かすとともに、入学者選抜を的確かつ適正に実施するための資料収集と評価の手段として、高校生を対象とするステークホルダー調査を活用する」について、「募集人員の少なさが出願に影響するか」とのアンケートに半数以上の者が出願しにくいと回答しているにもかかわらず、募集人員の細分化の解消を図ることについては検討段階にとどまっていることから、改善することが望まれる。</p>	<p>左記の状況については、学部と大学院の接続を含む教育研究体制について検討を重ね、平成19年度に大学院の履修区分の見直しを行い、それに併せ学部については平成21年度中に立案を終了し、平成22年度から大学院の専攻に対応した学部改組を行った(別添資料13. P7)。本学部改組の折に、懸案であった募集人員の細分化の解消を行った(別添資料3. P2, 資料5. P3)。その結果、平成22年度入試において、学部全体の志願者数が前年度比892人、25%増となった(別添資料6. P3)。</p> <p>以上のように、指摘のあった点については、本学の全体的な組織体制の見直しの中で着実に検討・改善を実施した。</p>

平成 20、21 年度  
中期目標の達成状況報告書  
(別添資料)

平成 22 年 6 月  
大阪教育大学

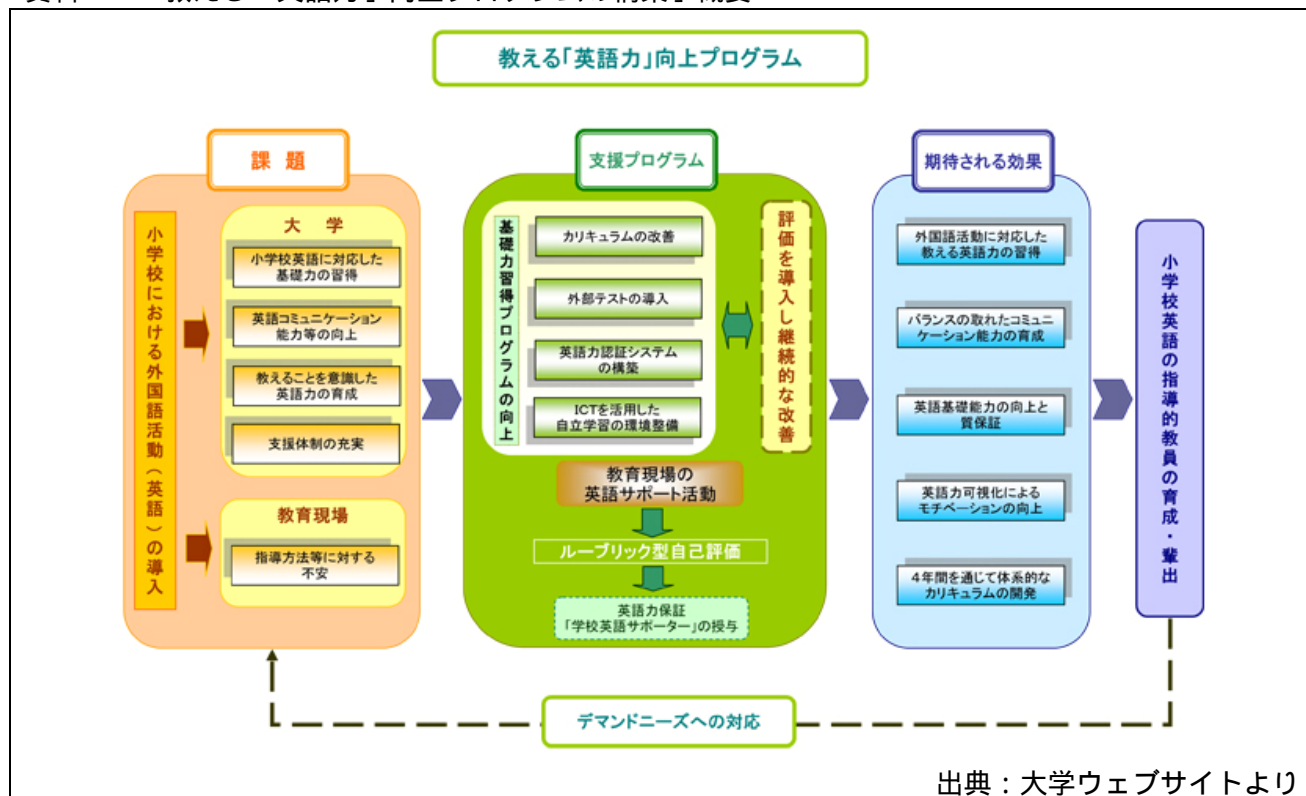


## 目 次

資料 1	「教える「英語力」向上プログラムの構築」概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
資料 2	「教える「英語力」向上プログラムの構築」における事業展開・・・・・・・・	1
資料 3	教員養成課程改組に伴う組織の対照表・・・・・・・・・・・・・・・・	2
資料 4	キャリア支援センターの概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
資料 5	教養学科改組に伴う組織の対照表・・・・・・・・・・・・・・・・	3
資料 6	教育学部の志願者数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	3
資料 7	教員養成課程の新カリキュラムの履修基準（学校教育教員養成課程の例）・・	3
資料 8	「教職基礎科目」、「教職教養科目」の科目一覧及び履修要領・・・・・・・・	4
資料 9	開学60周年記念事業 シンポジウム開催案内・・・・・・・・・・・・・・・・	4
資料10	大学改革シンポジウム 「3人の学長が語る『連携を通じた教員養成の取組』」開催案内・・・・・・・・	5
資料11	第2期中期目標・中期計画・平成22年度計画 （京阪奈3教育大学連携関係抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・	5
資料12	大阪教育大学 履修カルテ・・・・・・・・・・・・・・・・	6
資料13	学部改組後の教育組織と教員組織及び大学院との対応関係・・・・・・・・	7
資料14	学校安全・安全教育等に関する主な研究活動状況・・・・・・・・	7
資料15	「International Safe School」協定書・・・・・・・・・・・・・・・・	8
資料16	学校安全や学校の危機管理などに関する研究成果を 大学教育に反映させたカリキュラムの例・・・・・・・・	8
資料17	免許状更新講習開講一覧（平成21年度開講）・・・・・・・・	9
資料18	平成21年度 免許状更新講習 受講者アンケート結果（必修講習：教育の最新事情（全期間））・・	10
資料19	コミュニティラジオ「FMかしわらじい」・・・・・・・・	11



資料1 「教える「英語力」向上プログラムの構築」概要



資料2 「教える「英語力」向上プログラムの構築」における事業展開

**ポッドキャストを活用した教材開発**

**ATR CALL BRIX (コンピュータを利用した英語学習システム)の導入**

**講演会・フォーラムの開催**

日付	講演会等名	演者等	参加者数
H21.12.4	「今、大学生に求められる外国語運用能力とは何か？」	横川 博一（神戸大学・准教授）	43名
H21.12.16	『これからの小学校外国語活動「英語ノート」&電子ボードの活用をめざして』	前 JET プログラム ALT (John 英会話学校主宰) John Tomseck 他	31名
H22.2.6	『これからの小学校外国語活動 - 外国語活動における「英語力」とは - 』	(ワークショップ) 附属平野小学校 教諭 島崎 貴代 実践学校教育講座 准教授 柏木 賀津子 (シンポジウム) 提案者：石田 秀雄（京都女子短期大学部） 粕谷 恭子（東京学芸大学） 建内 高昭（愛知教育大学） 佐藤 臨太郎（奈良教育大学） 高木 亜希子（大阪教育大学）	68名 71名

資料3 教員養成課程改組に伴う組織の対照表

改組前				改組後			
課程	系・専攻	募集人員	入学定員	課程	専攻	募集人員	入学定員
小学校教員養成課程	教育科学系	50	290	学校教育教員養成課程	教育科学専攻	60	395
	総合認識系	10			国語教育専攻	48	
	人文・社会系	85			英語教育専攻	20	
	理数・生活系	90			社会科教育専攻	55	
	芸術・体育系	55			数学教育専攻	47	
中学校教員養成課程	教育科学専攻	10	理科教育専攻		55		
	国語専攻	8	保健体育専攻		30		
	英語専攻	8	技術教育専攻		10		
	社会専攻	10	家政教育専攻		20		
	数学専攻	15	音楽教育専攻		18		
	理科専攻	15	美術・書道教育専攻		32		
	保健体育専攻	8					
	技術・家庭専攻	15					
	音楽専攻	5					
	美術・書道専攻	11					

資料4 キャリア支援センターの概要

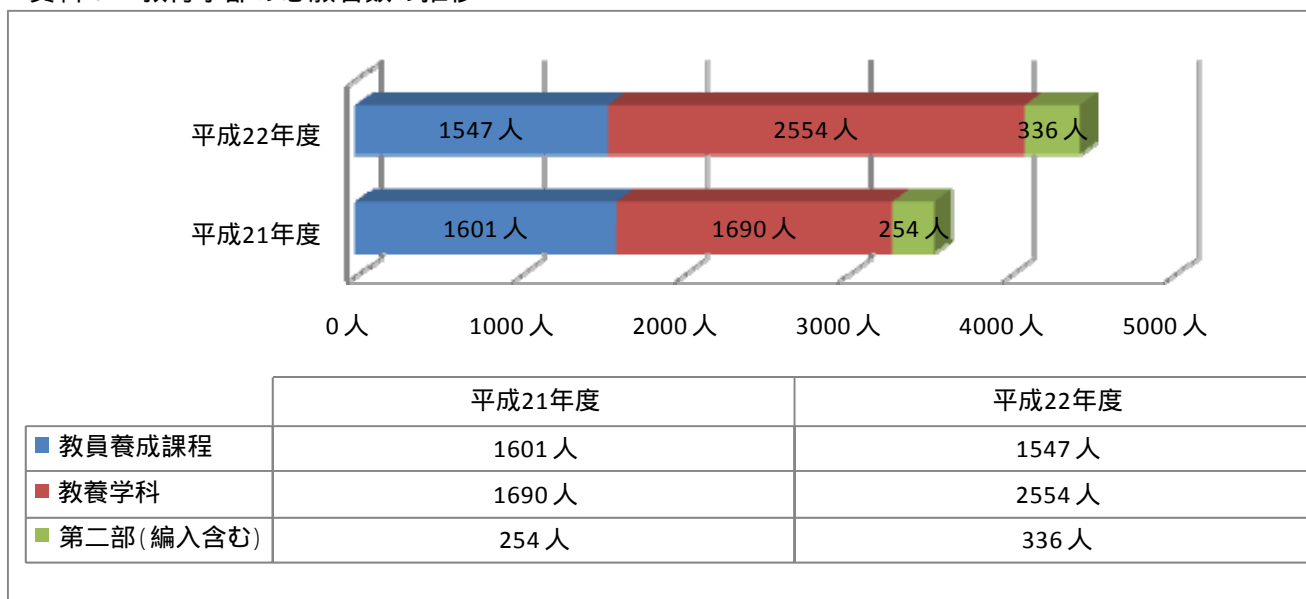
目的と主な業務	所属スタッフ																	
<p>キャリア支援センターは、大阪教育大学学生の職業観・勤労観を育て、職業に関する知識や能力・技能を獲得させ、自己の特性を理解して職業を選択していく能力と態度を育てるために、キャリア教育を含めて大学生活のあらゆる場での学生のキャリア・アップと職業選択を支援することを目的とします。</p> <p>主な業務は、下記のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) キャリア教育の企画立案・実施</li> <li>(2) 就職ガイダンス・セミナー及び特別講座の企画立案・実施</li> <li>(3) 就職指導・相談の実施</li> <li>(4) 就職情報の収集・提供</li> <li>(5) 就職に関する調査及び分析</li> <li>(6) インターンシップに関する支援</li> <li>(7) 卒業生に対する就職支援</li> </ol>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職名</th> <th>任務等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター長(兼任)・教授</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副センター長(専任)・特任教授</td> <td>キャリア教育 授業担当</td> </tr> <tr> <td>キャリア・アドバイザー(常勤)</td> <td rowspan="3">教員就職相談・指導</td> </tr> <tr> <td>キャリア・アドバイザー(非常勤)</td> </tr> <tr> <td>キャリア・アドバイザー(非常勤)</td> </tr> <tr> <td>キャリア・アドバイザー(非常勤)</td> <td rowspan="2">企業就職相談・指導</td> </tr> <tr> <td>キャリア・アドバイザー(非常勤)</td> </tr> <tr> <td>学生サービス課長</td> <td>事務担当課長</td> </tr> <tr> <td>学生サービス課就職係長</td> <td>事務担当係長</td> </tr> </tbody> </table>	職名	任務等	センター長(兼任)・教授		副センター長(専任)・特任教授	キャリア教育 授業担当	キャリア・アドバイザー(常勤)	教員就職相談・指導	キャリア・アドバイザー(非常勤)	キャリア・アドバイザー(非常勤)	キャリア・アドバイザー(非常勤)	企業就職相談・指導	キャリア・アドバイザー(非常勤)	学生サービス課長	事務担当課長	学生サービス課就職係長	事務担当係長
職名	任務等																	
センター長(兼任)・教授																		
副センター長(専任)・特任教授	キャリア教育 授業担当																	
キャリア・アドバイザー(常勤)	教員就職相談・指導																	
キャリア・アドバイザー(非常勤)																		
キャリア・アドバイザー(非常勤)																		
キャリア・アドバイザー(非常勤)	企業就職相談・指導																	
キャリア・アドバイザー(非常勤)																		
学生サービス課長	事務担当課長																	
学生サービス課就職係長	事務担当係長																	

出典：大学ウェブサイトより

資料5 教養学科改組に伴う組織の対照表

改組前				改組後			
専攻	コース	募集人員	入学定員	専攻	コース	募集人員	入学定員
人間科学専攻	生涯教育計画論	20	405	人間科学専攻		55	405
	人間行動学	20					
	発達人間福祉	25					
文化研究専攻	日本・アジア言語文化	20		文化研究専攻	日本・アジア言語文化	20	
	欧米言語文化	20			欧米言語文化	20	
	社会文化	25			社会文化	25	
数理学専攻		40		数理学専攻		40	
自然研究専攻	物質科学	30		自然研究専攻		60	
	生命科学	15					
	自然システム	15					
情報科学専攻		40		情報科学専攻		40	
スポーツ・健康科学・生活環境専攻	スポーツ	25		スポーツ専攻		35	
	健康科学	25					
	生活環境	10					
芸術専攻	芸術学	10		健康生活科学専攻		35	
	音楽	45					
	美術	20					
			芸術専攻	芸術学	10		
				音楽	45		
				美術・書道	20		

資料6 教育学部の志願者数の推移



資料7 教員養成課程の新カリキュラムの履修基準（学校教育教員養成課程の例）

	専攻	教養基礎科目	共通基礎科目	教職関連科目						専攻専門科目	自由選択	卒業論文
				教職基礎科目	教職教養科目	教職専門科目	教科専門科目	教科教育法	教育実習			
学校教育教員養成課程	小学校コース	16	10	6	2	18	16	20	5	20	11	6
	中学校コース					22	20	8			15	

出典：「平成22年度履修便覧」より



資料8 「教職基礎科目」・「教職教養科目」の科目一覧及び履修要領

科目区分	科目名	単位数	履修要領
教職基礎科目	情報機器の操作	2	3科目必修
	特別なニーズのある子どもの教育	2	
	学校安全	2	
教職教養科目	学校教育と著作権	2	2単位以上選択必修
	知的財産教育論	2	
	教育科学の基礎	2	
	ことばと教育	2	
	国際理解教育	2	
	アジア理解教育	2	
	人間と道徳	2	
	数と集合	2	
	環境教育論	2	
	食農教育の実践	2	
	食農教育の活用	2	
	消費者教育論	2	
	表現教育	2	
	遊びとスポーツ	2	
	小・中一貫教育概論	2	
教職実践論	2		

出典：「平成22年度履修便覧」より

資料9 開学60周年記念事業 シンポジウム開催案内

**大阪教育大学開学60周年記念事業(創基135周年)**

**OKU**

**シンポジウム & 朗読会**

**大阪の教育問題に就いて 発信する 大教大**

**第1回** 「大阪の教育を考える 一学力・授業力・学校力一」  
 司会 西山 洋一  
 コーディネーター 長尾 彰夫  
 平成21年4月25日(土)  
 会場：大阪国際交流センター 大ホール  
 参加費 1000円

**第2回** 「学びの意欲を高める クラスマネジメント」  
 司会 河村 茂雄  
 コーディネーター 藤田 雅春  
 平成21年6月27日(土)  
 会場：大阪教育大学天王寺キャンパス 312ホール  
 参加費 100円

**第3回** 「異文化と特別支援教育の今までとこれから 一わたしが私であるために一」  
 司会 上野 一孝  
 コーディネーター 上村 透子  
 関本 正子  
 平成21年9月26日(土)  
 会場：大阪教育大学天王寺キャンパス 312ホール  
 参加費 100円

**第4回** 「未来の教室 一テクノロジーを学校に一」  
 司会 野中 龍一  
 コーディネーター 本原 慎行  
 平成21年10月3日(土)  
 会場：大阪教育大学天王寺キャンパス 312ホール  
 参加費 100円

**第5回** 「世界から見た大阪の教育 一大阪教育大学に期待する一」  
 司会 井村 雅代  
 コーディネーター 長尾 彰夫  
 平成21年11月7日(土)  
 会場：大阪府庁中会議室 大講堂  
 参加費 1000円

**参加費 無料**

お問い合わせ先：大阪教育大学 総務課 TEL072-978-3212(平日9:00~17:30まで)  
 詳細は<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/60th/>  
 主催：大阪教育大学/ 協賛：大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会 瀬野新報大阪本社

資料 10 大学改革シンポジウム「3人の学長が語る『連携を通じた教員養成の取組』」開催案内

資料 11 第2期中期目標・中期計画・平成22年度計画（京阪奈3教育大学連携関係抜粋）

中期目標	中期計画	平成22年度計画
<p><b>大学の教育研究等の質の向上に関する目標</b></p> <p>1 <b>教育に関する目標</b></p> <p>(2) <b>教育の実施体制等に関する目標</b></p> <p>3 他大学との連携を強化し、教育水準の向上と内容の多様化を図る。</p> <p>(3) <b>学生への支援に関する目標</b></p> <p>1 大学生活において学生が意欲を持って学習し、自らの能力を十分発揮できるよう、学習、生活、就職等に関する総合的支援を充実させる。</p>	<p><b>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p>1 <b>教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>(2) <b>教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>3 <u>京都教育大学及び奈良教育大学との連携を推進し、教養教育等の大学教育を充実させる。</u></p> <p>(3) <b>学生への支援に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>1 - 5 <u>京都教育大学及び奈良教育大学との連携を推進し、学生主体のセミナーや合同で教員就職対策セミナー等を開催する。</u></p>	<p><b>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p>1 <b>教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>(2) <b>教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>3 <u>「京阪奈3教育大学連携推進協議会(仮称)」を設置し、教員養成教育や教養教育の充実方策に係る連携協力事業項目の整理を行う。</u></p> <p>(3) <b>学生への支援に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>1 - 5 <u>「京阪奈3教育大学連携推進協議会(仮称)」を設置し、学生合同セミナーや教員就職対策に係る連携協力事業項目の整理を行う。</u></p>
<p><b>業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p>2 <b>事務等の効率化・合理化に関する目標</b></p> <p>1 効率的な事業運営を行うため、他大学との事務の共同実施を推進する。</p>	<p><b>業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p>2 <b>事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>1 他機関と共同して事務を実施することにより管理的経費の節減や人的資源の活用を推進する。</p>	<p><b>業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p>2 <b>事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>1 <u>京都教育大学及び奈良教育大学と共同で、管理経費の節減や合同事務研修の実施などの連携事業項目の整理を行う。</u></p>



資料 13 学部改組後の教育組織と教員組織及び大学院との対応関係

学部改組後の教育組織		教員組織	大学院の担当専攻
幼稚園教員養成課程		学校教育講座	学校教育専攻
	教育科学専攻		
学校教育教員養成課程	国語教育専攻	国語教育講座	国語教育専攻
	英語教育専攻	英語教育講座	英語教育専攻
	社会科教育専攻	社会科教育講座	社会科教育専攻
	数学教育専攻	数学教育講座	数学教育専攻
	理科教育専攻	理科教育講座	理科教育専攻
	保健体育専攻	保健体育教育講座	保健体育専攻
	技術教育専攻	技術教育講座	技術教育専攻
	家政教育専攻	家政教育講座	家政教育専攻
	音楽教育専攻	音楽教育講座	音楽教育専攻
	美術教育専攻	美術教育講座	美術教育専攻
特別支援教育教員養成課程		特別支援教育講座	特別支援教育専攻
養護教諭養成課程		養護教育講座	養護教育専攻

資料 14 学校安全・安全教育等に関する主な研究活動状況

H20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ及びデンマークの小・中学校における子どもの安全教育と安全管理に関する実地調査（平成 20 年 9 月）</li> <li>・中国華東師範大学及びその附属小学校，南京師範大学における学校危機管理に関する実地調査（平成 20 年 10 月）</li> <li>・イギリスのロンドン・バーネット地区内の小学校及び地区内の遊戯施設・道路等を含めた地域内の小学生の登下校時の安全確保についての実態調査（平成 20 年 10 月）</li> <li>・トルコ及びギリシャの小・中学校における学校危機管理及び安全教育に関する実地調査（平成 20 年 11 月）</li> <li>・オーストラリアの小・中学校における学校危機管理及び安全教育に関する実地調査（平成 21 年 2 月）</li> <li>・台湾の小・中学校における学校危機管理及び安全教育に関する実地調査（平成 21 年 3 月）</li> <li>・韓国のセーフスクールにおける学校危機管理及び安全教育に関する実地調査（平成 21 年 3 月）</li> </ul>
H21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スウェーデンで開催された第 19 回世界性の健康会議での学会発表（平成 21 年 6 月）</li> <li>・日本心理学会第 73 回大会（京都）シンポジウムに参加し口頭発表（平成 21 年 8 月）</li> <li>・イギリスのダンブレン小学校における事件後の取り組みに関する実地調査（平成 21 年 9 月）</li> <li>・中国で開催された The 5th Asian Regional Conference on Safe communities 参加（平成 21 年 10 月）</li> <li>・台湾で開催された International Safe School Forum に参加し，附属池田小学校の認証についての取り組みを発表（平成 21 年 10 月）</li> <li>・国際トラウマティックストレス学会参加及びジョージア州立大学での資料収集（平成 21 年 11 月）</li> <li>・スウェーデンの精神障害福祉の現状調査（平成 21 年 12 月）</li> <li>・エジプト・アラブ共和国の現地小学校とテロ災害発生場所における危機管理の現状に関する実地調査及び関連資料の収集（平成 22 年 1 月）</li> <li>・アメリカで開催された THE SOCIETY FOR PERSONALITY AND SOCIAL PSYCHOLOGY 2010 への参加及び研究発表（平成 22 年 1 月）</li> <li>・和歌山県津波防災教育センター視察及び資料収集（平成 22 年 1 月）</li> <li>・カナダの教育省作成の通学路安全プログラムの運用状況に関する実地調査（平成 22 年 3 月）</li> <li>・アメリカで開催された学校心理士会への参加及びボストン大学カウンセリング部門視察（平成 22 年 3 月）</li> <li>・韓国の The 19th International Conference on safe communities への参加及び研究成果報告（平成 22 年 3 月）</li> </ul>

資料 15 「International Safe School」協定書



資料 16 学校安全や学校の危機管理などに関する研究成果を大学教育に反映させたカリキュラムの例

科目区分	科目名	授業の到達目標	授業計画
教養基礎科目	学校危機と心のケア	1. 危機の概念を理解し、学校危機管理体制の必要性を学ぶ。 2. 学校危機の一次予防、二次予防、三次予防について理解する。 3. 具体的な予防や支援のあり方を考え、学校危機管理について積極的な姿勢を持つことができる。	第1回 学校危機とは 第2回 附属池田小学校における安全管理と安全教育 第3回 学校危機介入とは 第4回 学校危機介入の一次予防 第5回 トラウマと心のケア I 第6回 トラウマと心のケア II 第7回 学校危機後の学級運営 第8回 回復とレジリエンス 第9回 さまざまな課題に対する危機対応 第10回 学校におけるさまざまな事件・事故と教育相談 第11回 被害者支援 第12回 グリーフケア 第13回 学校におけるストレスマネジメントの実践 I 第14回 学校におけるストレスマネジメントの実践 II 第15回 試験評価
教職基礎科目	学校安全	学校安全や危機管理についての基本的事項を理解する。安全学習・指導の展開を校種によりできるようになる。さらに、危機対応(リスク・マネジメント)の能力について基本的な姿勢を身に付ける。	第1回 学校安全の概念 第2回 子どもの特性と学校安全 第3回 学校安全の構造:安全教育 第4回 学校安全の構造:安全管理 第5回 グループ学習の準備 テーマ設定 第6回 安全に関する理論と実際 第7回 安全に関する理論と実際 第8回 安全教育の学習指導案の作成方法 第9回 安全教育の教材開発 第10回 附属池田小学校事件の概要と教訓 第11回 防災・防犯訓練の実際 第12回 事件・事故の発生時の対応 第13回 事例に学ぶ危機対応の実際 第14回 事例に学ぶ危機対応の実際 第15回 学校事故と災害共済給付制度

出典:「平成 21 年度シラバス」より

資料 17 免許状更新講習開講一覧（平成 21 年度開講）

免許状更新講習一覧

大阪教育大学では、平成21年度から導入される「教員免許状更新講習」をより充実した内容にするため、全学体制で取組を進めています。平成21年度は、必修講習では3,000人、選択講習では2,355人を受講受入予定として、夏季休業中を中心に、6月～11月まで多様な日程で開講する予定にしています。

○ 必修講習(必修領域「教育の最新事情に関する事項」12時間分)

1クラス100人全30クラスを、項別に開講  
(幼稚園・小学校コース2クラス、小学校コース12クラス、中学校コース8クラス、高等学校クラス8クラス)

履修名	タイプ	講習日程	項別別クラス	開講校	履修名	タイプ	講習日程	項別別クラス	開講校
教育の最新事情	A	6/13,20	幼小(1クラス)・小(1クラス)	天王寺	教育の最新事情	B	6/24,25	小(2クラス),中(2クラス),高(1クラス)	天王寺
教育の最新事情	B	7/27,28	小(1クラス),中(1クラス),高(1クラス)	天王寺	教育の最新事情	C	10/16,17,18	小(1クラス),高(1クラス)	天王寺
教育の最新事情	B	8/3,4	小(1クラス),中(2クラス),高(2クラス)	天王寺	教育の最新事情	A	10/10,17	小(1クラス),中(1クラス),高(1クラス)	天王寺
教育の最新事情	B	8/17,18	小(2クラス),中(2クラス),高(1クラス)	天王寺	教育の最新事情	A	11/14,21	幼小(1クラス)・小(1クラス),高(1クラス)	天王寺

○ 選択講習(選択領域「教科指導,生徒指導その他教育の充実に関する事項」18時間分)

履修名	タイプ	講習日程	対象者	開講校	定員	履修名	タイプ	講習日程	対象者	開講校	定員
新しい中学校国語科 学習指導要領	B	8/5～7	中学校国語科教師	天王寺	40	選択領域の学習指導の 理論と実践	B	7/29～31	小学校教師	柏原	50
新しい小学校国語科 学習指導要領	B	8/5～7	小学校教師	天王寺	80	保健領域の学習指導の 理論と実践	B	7/29～31	小学校教師	柏原	50
日本・中国の食料と文化	B	7/29～31	高等学校国際科 教師	天王寺	80	スポーツ・体育を 文化として考える	B	7/29～31	中学校・高等学校 保健体育科教師	柏原	60
社会科地理科授業と実践	B	7/29～31	小学校教師・ 中学校社会科教師	天王寺	80	スポーツ競技力向上の 理論とその指導法	B	7/29～31	中学校・高等学校 保健体育科教師	柏原	60
社会の成り立ちと 人間性コミュニケーション	B	8/5～7	小学校教師・ 中学校社会科教師	天王寺	80	音楽教師一力量形成のため の理論と実践	B	8/19～21	音楽教師	天王寺	50
社会科歴史学習の内容と 方法に関する理論的考察	B	7/29～31	小学校教師・ 中学校社会科教師	天王寺	80	中学校教員を対象とした ものづくりに関する講習	B	8/5～7	中学校理科教師	柏原	10
社会と文化	A	6/15・20・27	高等学校社会科 教師	天王寺	30	家庭科はもしろい	B	7/29～31	小学校教師	天王寺	40
現代・異動教育で 考えたいこと	B	8/19～21	小学校教師	天王寺	60	家庭科実験を中心とした 授業作り	B	8/5～7	中学校・高等学校 家庭科教師	柏原	40
中学校教員のための数学	B	7/29～31	中学校数学科教師	天王寺	50	「教員を暮らしと生活の色紙」 および「はじめての学習」	B	8/5～7	中学校・高等学校 家庭科教師	柏原	25
数学の世界	B	7/29～31	高等学校数学科 教師	柏原	40	中学校及び高等学校における 実験授業の理論と実践	B	8/26～28	中学校・高等学校 理科教師	天王寺	60
情報教育におけるICT入門	B	8/19～21	高等学校情報科 教師	柏原	40	欧米の食料と文化	B	8/19～21	高等学校国際科 教師	柏原	120
楽しく学ぶ理科実験入門(Ⅰ) ～理科をもっと楽しもう～	B	7/29～31	小学校教師	柏原	40	特別支援教育の現状と課題	A	10/24・31, 11/7	幼・小・中・高・ 特別支援学校教師・ 養護教諭	天王寺	100
楽しく学ぶ理科実験入門(Ⅱ) ～理科をもっと楽しもう～	B	8/26～28	小学校教師	柏原	40	発達の基礎・連携を 考える	B	7/29～31	幼稚園・小学校 教師	柏原	50
楽しく学ぶ理科実験入門(Ⅲ) ～理科をもっと楽しもう～	A	6/15・20・27	小学校教師	柏原	40	生涯学習論・社会教育論	B	8/26～28	幼・小・中・高・ 特別支援学校教師	天王寺	40
自然観察入門	B	7/29～31	小学校教師・ 中学校理科教師	柏原	30	心理学概論	B	8/19～21	幼・小・中・高・ 特別支援学校教師・ 養護教諭	天王寺	100
物質とエネルギーの視点から 考える中学校理科	B	8/26～28	中学校理科教師	柏原	40	社会科教育論の概論	B	7/29～31	幼・小・中・高・ 特別支援学校教師・ 養護教諭	天王寺	30
現代科学・技術につながる 高等学校理科	B	8/19～21	高等学校理科教師	柏原	40	新力的な授業づくり ～小学校有教科科目Ⅱ(3)①②	B	8/5～7	小学校教師	天王寺	30
教科書の教材力の研究と新学習 指導要領に基づく授業改善①	A	10/24・31, 11/7	小学校教師	天王寺	60	新力的な授業づくり ～小学校有教科科目Ⅱ(3)③	B	8/19～21	小学校教師	天王寺	30
教科書の教材力の研究と新学習 指導要領に基づく授業改善②	A	10/24・31, 11/7	中学校音楽科教師	天王寺	40	新力的な授業づくり ～小学校有教科科目Ⅱ(3)④	A	10/24・31, 11/7	小学校教師	天王寺	30
創発法の基礎と実践	B	8/5～7	高等学校音楽科 教師	柏原	30	多様性を尊重する人権教育	B	8/5～7	小・中・高等学校 教師	天王寺	50
国工・美術の教材体験①	B	8/19～21	小学校・中学校 美術科教師	柏原	30	子どものための 生涯科授業づくり	B	8/26～28	幼稚園・小学校 教師	天王寺	50
国工・美術の教材体験②	B	8/26～28	小学校・中学校 美術科教師	柏原	30	思考力・表現力を養成する 授業づくり	B	8/19～21	小学校教師	天王寺	50
実業試験への導入として	C	10/20・22, 27・29, 11/5・10	高等学校美術科 教師	柏原	20	子どもと子どもをつなぐ 学級集団づくり	B	8/26～28	小学校・中学校 教師	天王寺	50
楽しく学ぶ書写・ 書道実践講座	B	8/26～28	小学校・中学校 書道科書道担当 教師	柏原	30	市民性を育む教育	B	7/29～31	幼・小・中・ 高等学校教師	天王寺	50

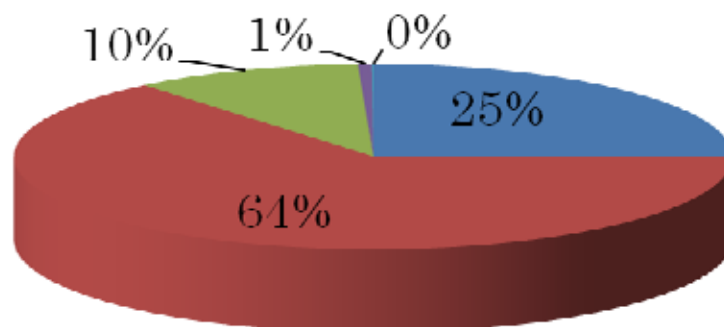
開講時間は、A(土曜日型)、B(夏季休業型)では、いずれも1日6時間、C(平日夜間型)では、1日3時間です。

出典：広報誌「天遊 vol.11」より

資料 18 平成 21 年度 免許状更新講習 受講者アンケート結果（必修講習：教育の最新事情（全期間））

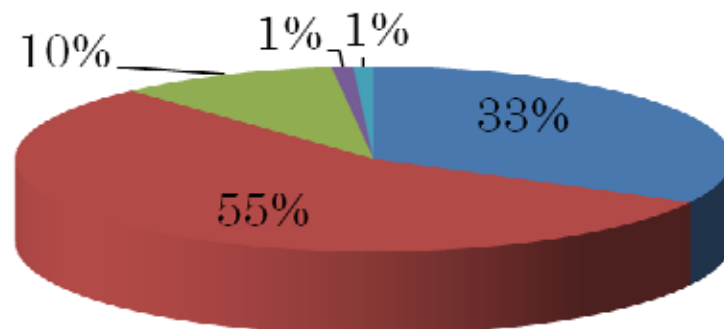
### 講習の内容・方法について（設問 1）

■よい ■だいたいよい ■あまり十分でない ■不十分 ■その他（記載なし）



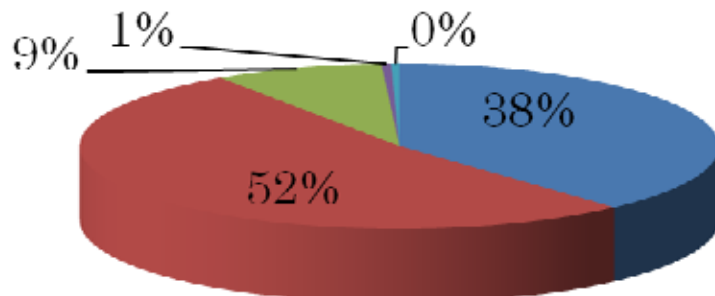
### 受講者の「最新の知識・技能の修得」の成果（設問 2）

■よい ■だいたいよい ■あまり十分でない ■不十分 ■その他（記載なし）



### 運営面（受講者数・会場・連絡等）についての評価（設問 3）

■よい ■だいたいよい ■あまり十分でない ■不十分 ■その他（記載なし）



資料 19 コミュニティラジオ「FMかしわらじい」

**FMちゃお79.2** 学生と市民からの柏原情報発信!!

# かしわらじい

## 放送決定!!

イメージキャラクター  
番組中で募集します!!

柏原の美味しいお店?  
柏原発!エコ情報!  
大阪教育大学の  
ことも教えちゃいます!

柏原で育った  
芸人の記録!?  
...etc.

月~金曜日  
AM 11:00~11:30  
『柏原市からのお知らせ』  
の中で週1回放送予定!!

2009.4~  
ON AIR!! 乞うご期待!!

★ラジオメンバー募集中★  
大阪教育大学と市民で柏原を盛り上げていきませんか!?メンバーは  
主にエコっ種と放研で構成されてます!興味が出たら是非ご連絡を!  
メール: k051503@ex.osaka-kyoiku.ac.jp(代表 岡見まで)  
※五月祭での公開収録も予定しております!ご期待ください!

